

# 特別委員長報告

三つの特別委員会は、所管をまたがる事項や重要な事項について調査・研究することを目的として令和5年6月30日に設置され、約2年間、鋭意活動してまいりました。今号では、6月11日の本会議において各委員長から報告のあった、これまでの調査・研究の概要について、主に委員の意見を掲載しています。

発行/広島市議会 編集/広島市議会広報委員会 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 ☎082-504-2439 令和7年(2025年)8月発行 第323号別紙

## 大都市税財政・地方創生対策特別委員会



委員長  
八條範彦

- 委員長** 八條範彦  
**副委員長** 平野太祐  
**委員** 長井龍也 中野和広  
 豊島永子 有田優子  
 山下正寛 三宅朗充  
 岡村和明 川村真治  
 西田 浩 宮崎誠克  
 永田雅紀 中森辰一

### 【調査項目】

- 1 大都市税財政制度の充実強化
- 2 地方分権の推進
- 3 地方創生への取組
- 4 行政改革と財政健全化の推進

各調査項目に対する委員の意見などは次のとおりです。

**1 大都市税財政制度の充実強化**  
 (1) 指定都市の国の施策及び予算に関する提案

▼多様な大都市制度の早期実現について、総務省の中に専門的に検討する専任組織や指定都市との研究会を設置し、特別市制度の実現に向けて議論を加速するよう具体的に提案するのは有意義なことであり、確実に進めてほしい。



にぎわう市内中心部

▼ヒト・モノ・カネを循環させることにより高齢化社会を支える財源を確保するよう検討してほしい。など

**(2) 大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望**

▼地方税の国税化は、地方の課税権を大きく侵害し、地方分権に逆行するため、早期に是正するよう要望するとともに、国・地方間の税源配分の決定などに関し、地方の意見が国にしっかりと届くよう取り組んでほしい。

▼都市としての魅力を発信しているのに、転出超過が止まらない原因がどこにあるのか一歩踏み込んで考えてほしい。など

**(3) 主要事業に関する国への要望**

▼保育士や幼稚園教諭は精神的な負担が大きいことから、スクールカウンセラーを学校だけではなく、保育園や幼稚園にも配置するよう検討してほしい。

▼国の機能が東京に一極集中している問題に一石を投じる意味でも、外務省の核軍縮、核不拡散に関する部署を広島に移転させることについて積極的に行動してほしい。など

### 要望事項

本市の主要事業に関する国への要望事項などの中から以下の項目を選定し各党派に要望を行いました。

- 1 原爆被爆者援護施策の充実
- 2 道路・交通ネットワークの整備
- 3 都市再生・都市基盤の整備

- 4 防災・減災のまちづくりの推進
- 5 平和への取組



慰霊碑から望む原爆ドーム

### 2 地方分権の推進

▼権限移譲に見合わない財源移譲では、特別市になることが財政を弱体化させる懸念があるの

▼特別市としてどのような行政を行うのかを明確にした上で、特別市制度の実現に向けて取り組むべきではないか。など

### 3 地方創生への取組

▼学生が置かれている実態を分析して、若い人が本市で働きたい、住み続けたいと思えるような施策に取り組んでほしい。

▼地域における子育て支援や障害者支援、高齢者支援はどの世代の人も関わっていく必要がある

▼交通安全対策については、本市として組織横断的に取り組むとともに、広島県警察に対しても高齢者の交通事故を減らすための取組を強く働き掛けてほしい。



▼二酸化炭素の排出量削減にも

つながることを考えた食品ロス削減に取り組んでほしい。

▼U-1ターン就職学生支援事業は本市が力を入れている事業

なので、その意気込みを学生に知ってもらえるよう、SNSを活用するなど広報を工夫してほしい。

▼子ども医療費補助制度や学校給食の無償化について、本市は、政府が行うべきだと言いつけるのではなく、それが実現されるよう本市としても積極的に取り組む必要があるのではないか。など



### 4 行政改革と財政健全化の推進

▼学校や保育園において教員や保育士が非正規で雇用され、その大半が女性となっている状況が続く限り、ジェンダーバランスの問題は解消せず本市の人員配置は偏ったものになるので考えてほしい。

▼財政の柔軟性を整えていくため、経常収支比率を改善する取組を進めてほしい。など

本特別委員会で調査・研究した項目は、少子高齢化や人口減少により生じる様々な課題に的確に対応し、真の分権型社会の実現や地方創生の取組を推進していくために、非常に重要な課題です。

委員各位の貴重な意見を真摯に受け止め、これらの課題に対する取組を推進していただくよう、強く要望します。

## 都市活性化対策特別委員会



委員長  
山路英男

- 委員長** 山路英男  
**副委員長** 山本昌宏  
**委員** 吉田いつこ 平岡優一  
 丸山幸一郎 沖本高博  
 福田心平 門田佳子  
 大西 理 清水貞子  
 西佐吉晋平 川口茂博  
 川本和弘 並川雄一  
 桑田恭子 碓氷芳雄

### 【調査項目】

- 1 魅力ある都心や拠点地区等におけるまちづくりの推進
- 2 公共交通を軸とした交通体系の構築
- 3 インバウンド需要等の回復を見据えた観光振興

各調査項目に対する委員の意見などは次のとおりです。

**1 魅力ある都心や拠点地区等におけるまちづくりの推進**

▼ファミリープールについては、安価で楽しめることが最大の魅力だと思つので、その再整備に当たっては、できるだけ利用者にとって経済的な負担が掛からないようにしてほしい。

▼子ども文化科学館、子ども図書館及び青少年センターの再整備に当たっては、各施設を現在の子ども文化科学館の建物に無理に配置することになると、サービスの低下が懸念されるので、各施設に求められる機能をしっかりと確保してほしい。

▼ファミリープールについて、流れるプールを残すとともに、ナイトプールを導入すること

で、市民だけでなく観光客にも来てもらえるような施設にしてほしい。

▼シャレオは空き店舗が目立つなど、紙屋町はこのままでは衰退してしまうので、中央公園内の公共施設の集約化等を検討するに当たっては、紙屋町の活性化も含めて考えてほしい。

▼文化芸術や子どもたちの施設の整備については、目先の財政的なメリットから集約化にとら

われるのではなく、中長期的な視点で進めてほしい。

▼子どもゾーンの整備に当たっては、小・中・高校生を対象としたアンケートを取るなど、子どもの意見をしっかりと取り入れていくことが重要ではないか。

▼ファミリープールについて、多大な費用を掛ける以上、多くの方々を利用してもらう必要がある

ので、年間の目標利用者数という明確な目標を持って整備を進めてほしい。

▼子ども図書館の再整備に当たっては、子ども本の森との役割分担等についてしっかりと検討してほしい。